

## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東  
コード番号 3845 URL https://www.i-freek.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 邦臣  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 三宅 公崇 TEL 03-6274-8901  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	630	△3.0	△19	—	△15	—	△15	—
2024年3月期第1四半期	649	4.0	△4	—	4	△86.4	3	△86.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 3百万円 (△86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△0.85	—
2024年3月期第1四半期	0.22	—

(注) 1. 2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,245	657	52.3
2024年3月期	1,286	672	51.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 651百万円 2024年3月期 666百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,837	10.3	56	—	54	—	53	—	3.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

第2四半期累計期間の業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社 (社名) 株式会社アイフリークスマイルズ

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	17,839,641株	2024年3月期	17,839,641株
2025年3月期1Q	一株	2024年3月期	一株
2025年3月期1Q	17,839,641株	2024年3月期1Q	17,839,641株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
（1）当四半期の経営成績の概況 .....	2
（2）当四半期の財政状態の概況 .....	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
（1）四半期連結貸借対照表 .....	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、景気は緩やかに回復を見せたものの、インフレの継続や円安を背景とする物価の上昇などにより消費活動の停滞が懸念されており、また、ウクライナ情勢や中東情勢などグローバルな地政学リスク等の影響により、経済情勢の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、経営の合理化と組織運営の効率化を図ることを目的としつつ、軸となるコンテンツ事業とDX事業の二つの事業活動の推進に努めてまいりました。かかる目的達成の施策の一環として、当社の完全子会社である株式会社アイフリークスマイルズを2024年4月1日で吸収合併いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は630,258千円（前年同四半期比3.0%減）、営業損失は19,018千円（前年同四半期は4,040千円の営業損失）、経常損失は15,050千円（前年同四半期は4,135千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は15,120千円（前年同四半期は3,942千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、デジタル技術とデータを基盤に据えた適切な経営情報の開示区分を対外的に明示する点から、従来「コンテンツクリエイターサービス（CCS）事業」としていた報告セグメントの名称を「DX事業」へと変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### <コンテンツ事業>

コンテンツ事業におきましては、当社が運営していた決裁承認ワークフローシステム「Challet(チャレット)」の2023年10月末での終了が当第1四半期の収益にマイナスの影響を及ぼしているものの、当社グループのコンテンツの将来的な収益に繋がる施策を実施いたしました。知育アプリについては、言葉・名前に興味を持ち始めたお子様が、遊びながら楽しく言葉を習得するための音声つきアプリ、「タッチ図鑑シリーズ」を2024年4月までに5種類リリースしております。

また、絵本アプリ「森のえほん館」では人気絵本シリーズ「コークのITリテラシー絵本シリーズ」（編集：森のえほん館編集部）のプレゼントキャンペーンを実施し、本キャンペーン周知のため、当社監修の下テレビCMの制作を行うなど、当社サービスのさらなる認知拡大に繋がる取り組みを実施いたしました。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は28,140千円（前年同四半期比56.4%減）、セグメント損失は7,329千円（前年同四半期は8,329千円のセグメント損失）となりました。

#### <DX事業>

DX事業においては、インフレの継続や円安を背景とする物価の上昇などによる消費活動への停滞の懸念、ウクライナ情勢や中東情勢などグローバルな地政学リスク等の影響により先行きは依然として不透明な状況が継続するものの、既存顧客に対する単価交渉が一部結実したことが、売上高増加に影響を及ぼしております。単価向上の成果が達成できていない部分については、引き続き今期交渉を継続する予定でございます。もともと、DX事業の従業員を対象として前期中に実施した給与水準の引き上げ（ベースアップ）の結果、人件費が増加しておりますが、同事業における営業体制の連携の強化等を実施することで効率的な事業運営に努めております。

これらの結果、DX事業の売上高は602,118千円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は49,286千円（前年同四半期比34.8%減）となりました。

（注）製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

（2）当四半期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて37,923千円（3.1%）減少し、1,173,209千円となりました。これは主として、前払費用が9,597千円増加する一方、売掛金が22,634千円、未収入金が3,658千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,356千円（4.4%）減少し、72,480千円となりました。これは主として、有形固定資産が1,223千円、無形固定資産が2,018千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて41,279千円（3.2%）減少し、1,245,690千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16,452千円（4.0%）減少し、398,666千円となりました。これは主として、買掛金が6,245千円、未払費用が4,668千円増加する一方、預り金が9,192千円、未払金が5,540千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9,989千円（5.0%）減少し、189,798千円となりました。これは主として、長期借入金が10,002千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて26,442千円（4.3%）減少し、588,464千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて14,837千円（2.2%）減少し、657,225千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を15,120千円計上により減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	718,391	719,962
売掛金	417,043	394,408
仕掛品	1,405	1,550
前払費用	30,449	40,046
未収入金	12,237	8,578
短期貸付金	11,791	10,808
その他	34,592	11,442
貸倒引当金	△14,777	△13,588
流動資産合計	1,211,132	1,173,209
固定資産		
有形固定資産	24,358	23,134
無形固定資産		
のれん	18,106	16,175
その他	1,169	1,080
無形固定資産合計	19,275	17,256
投資その他の資産	32,203	32,089
固定資産合計	75,837	72,480
資産合計	1,286,970	1,245,690
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,228	36,474
1年内返済予定の長期借入金	61,712	56,702
未払金	31,767	26,226
未払費用	169,160	173,829
未払法人税等	4,994	1,167
未払消費税等	55,731	51,790
預り金	60,673	51,480
その他	850	995
流動負債合計	415,118	398,666
固定負債		
長期借入金	193,284	183,282
資産除去債務	6,504	6,516
固定負債合計	199,788	189,798
負債合計	614,906	588,464
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	461,893	461,893
利益剰余金	195,019	179,899
株主資本合計	666,912	651,792
新株予約権	5,150	5,433
純資産合計	672,063	657,225
負債純資産合計	1,286,970	1,245,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	649,852	630,258
売上原価	465,190	484,393
売上総利益	184,662	145,864
販売費及び一般管理費	188,703	164,883
営業損失(△)	△4,040	△19,018
営業外収益		
受取利息	133	66
業務受託料	530	—
助成金収入	133	800
受取保険料	4,900	—
貸倒引当金戻入額	1,965	2,947
その他	683	873
営業外収益合計	8,345	4,688
営業外費用		
支払利息	72	719
業務受託費用	95	—
その他	—	0
営業外費用合計	168	720
経常利益又は経常損失(△)	4,135	△15,050
特別損失		
固定資産除却損	107	—
特別損失合計	107	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,027	△15,050
法人税、住民税及び事業税	85	70
法人税等合計	85	70
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,942	△15,120
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,942	△15,120

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,942	△15,120
四半期包括利益	3,942	△15,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,942	△15,120



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当社は、2024年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であった株式会社アイフリークスマイルズを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	734千円	1,324千円
のれんの償却額	3,557	1,930

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	DX事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	64,473	585,379	649,852	—	649,852
外部顧客への売上高	64,473	585,379	649,852	—	649,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	64,473	585,379	649,852	—	649,852
セグメント利益又は損失 (△)	△8,329	75,557	67,228	△71,269	△4,040

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	D X 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	28,140	602,118	630,258	—	630,258
外部顧客への売上高	28,140	602,118	630,258	—	630,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,140	602,118	630,258	—	630,258
セグメント利益又は損失 (△)	△7,329	49,286	41,956	△60,975	△19,018

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「コンテンツクリエイターサービス事業」としていた報告セグメントの名称を、デジタル技術とデータを基盤に据えた適切な経営情報の開示区分を対外的に明示する点から、「D X 事業」に変更しております。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年7月1日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社I-FREEK GAMESを吸収合併（以下、「本合併」といいます。）することを決議し、2024年8月1日付で合併契約書を締結いたしました。

#### 1. 合併の目的

当社グループにおいて、株式会社I-FREEK GAMESはe-Sports事業、SES事業及びゲーム関連事業を行っております。本合併は、営業、マーケティング、人材採用、研修体制の統一化を実施し、同時に業務の集約及び人材配置の最適化により労働採算性を高め、経営の合理化と組織運営の効率化を図り、当社グループの成長を一層加速させることを目的としております。

#### 2. 合併の要旨

##### (1) 合併の日程

合併契約承認取締役会決議日	2024年7月1日
合併契約締結日	2024年8月1日
合併期日(効力発生日)	2024年10月1日(予定)

##### (2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式とし、消滅会社である株式会社I-FREEK GAMESは効力発生日をもって解散いたします。

##### (3) 結合後企業の名称

株式会社アイフリークモバイル

##### (4) 合併に係る割当ての内容

消滅会社である株式会社I-FREEK GAMESは当社の100%子会社であることから、本合併による新株式の発行及び金銭の割当ては行いません。

##### (5) 消滅会社の株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

#### 3. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。